

陳情第109号	受理年月日	令和4年8月25日
付託委員会	教育文化委員会	
件名	小森江西小学校・小森江東小学校統合準備委員会における校舎位置の決定の白紙撤回について	
要旨	<p>令和4年3月18日に開催された第13回統合準備委員会において、統合後の校舎位置を小森江東小学校とする教育委員会案が提示され決定されたが、この会議運営には重大なかしがある。</p> <p>今回の統合準備委員会は、従来とは異なり、校舎位置が検討項目に入っていることから、言わば前例がない。その検討に当たっては、十分な根拠に基づく明確な基準が当然示されるべきであるが、そうになってはいない。</p> <p>また、会議の早い段階から、専門家（教育委員会のこと）への一任が主張されている。これでは議論は深まらない。あくまで専門家の意見は参考にとどめ、両者、合意なくして統合なし、の気概で、かつオープンに議論を進めていく以外、実りある発展的統合は、なし得ないと考える。</p> <p>今日の統合準備委員会が、もし出口のない混迷の中にあるとすれば、それは議論の入り口が間違っていたのではないか。</p> <p>小森江西小学校区地域としての主張は、避難場所としての機能に勝り、児童クラブの生活に直結した利用度のより大きな小森江西小学校の安全面と利便性の優位は動かない。一方、それらの利点を損傷してまで得たい教育効果の向上は見当たらない。児童、保護者、地域にとって、この統合案は見合わない。</p> <p>ついては、校舎位置の決定の白紙撤回を求める。</p>	